きのふ石川島の職工 憲兵隊へ申告

製艦上の不正を陳述

石川島造船所の造機船工務組合理事高[illegible]治郎市外大名は十九日午後二時[illegible]町憲兵分隊に出頭し[illegible]小川特務曹長に面會して同三時五十分[illegible]社の秘密を申告して[illegible]分隊長[illegible]引き取つた之れに就き[illegible]不正事件[illegible]日まで新聞紙[illegible]に揭げられた點で技術上の過失と故意に仕様書に示してある品質以下の材料を使用した點を指摘したが第二段の會社と檢査監督官との間の關係の有無に就いては一言も云はず唯或は檢査官の眼の及ばない不正工事があると思ふだけであつた

稻用憲兵分隊長語る

會を月島勞働會館に開いた集まる合の先例を待つて事を擧げる事に決定した因にさきに馘首された本形職工大野鶴吉十ケ年勤續の

▲解雇手當 百九十圓を最高に鐵木の佐藤虎之助の二ケ年半で三十五圓を最低に十五名の首斬られ職工の手當はそれぞれ十九日午前中御下噂にも自宅に配達證明附で送り屆けられた

血涙を 呑んで時期を 待つ工勞組合

石川島造船所の一職工の不當の馘首事件よりあはや一大紛擾を惹起せんとした險惡なる形勢も十八日朝來會社側の術策に陷り

▲出鼻を折られ た工勞組合は十九日午後七時最後の幹部者四十餘名鐵工現場他七工場の責局[illegible]り、て此際一旦鉾を收め組

ガランとした砲兵工廠 今年は閉鎖か

ことし雇入れた職工は一人も無い 六千餘名の大減員

震災後の[illegible]軍備縮小の結果は陸海軍各種の工業會社を[illegible]に至らしめて多數の工場勞働者は[illegible]窮境の慘めさに遭遇してゐる就中陸軍砲兵工廠の如きは軍縮より[illegible]を蒙つた深傷は甚だしいものがある先づ大阪砲兵工廠は七千名の職工を解雇し尚手當を支給して退職者を募るといふ始末で東京の砲兵工廠でもそれにならひ大正十年に於て富下目黒、十條等の各工場の職工

四千名 を馘首し本年一月より四月までに七百六十名からの多數職工を各工場から驅逐してゐる東京砲兵工廠の一庶務課員は『何しろ仕事がまるでないのですからね今年になつてから職工として雇入た者は皆無で僅かに七八十名の小使員と看護婦を雇入れた許りで職工の方はどしどし解職して工場はたんたん寂しくなつて行きます』と呆氣ない話し振りで陸軍兵器工場の事業縮小に就ては當局者の頭を可成惱ましてゐる事は明かな事實である同じ工廠の

一職工 は『軍備縮小の喧しかつた昨年十一月上旬頃東京工廠構内及各工場に大正十一年三月までに退職申込の者は官の都合に依り解職を命じた者と同様の待遇、以て退職手當若しくは扶助料を給與するといふ掲示を出して退職職工を歡迎しました應募が先を見越した職工等はどしどし解職届を出して一月から二月一ぱいに九百八十人餘の職工が工場を去りましたが退職手當は最低日給の十日分最高十五日分と

ほんの お印許りの涙金で職工等は一時生活の保障を失はねばならなくなるのです之等の職工は全く工場勞働から離れて夜商人や其の日稼人となつたりして辛くも妻子を養つてゐるといふ哀れな境遇となつてゐます此の四月に入つてから首を斬られたものは百名もあります昨年以來今日まで東京工廠内の一萬人からの職工が今日では六千人餘といふ減少を示して尚ほ續々馘首が行はれる樣子で現在工場に働いてゐる職工は

戰々兢々 としてゐます飛行機製作工場の樣な特種の技術を要する所なれば相當技術のある者を雇入る事もありますが他の工場へは一人でも職工を雇入ることはありません職工の賃銀も不景氣になつて最低三年間勤續者三十五圓最高十年間勤續した者でも僅かに五十七圓といふ薄給で戰時に比較すると一割五分から減給されてゐます工廠内各工場の中最も甚しく減員されたのは七分工場を有する小銃工場で昨年の

總罷業 當時五千人からゐた職工が現在では二千八百名に減じてゐます此の上各工場の職工を合せて二千人から退職する事になれば小銃工場の如きは閉鎖のやむなきに至るだらうとは我々の觀測です最近工場委員會が開かれた席上解雇職工の手當問題で大分紛糾したさうですが更に角我々の運命は恐ろしい事になりましたよ』と妻女と子供とを顧みてほつといきをついた

海員罷業の火蓋切らる

國際[illegible]船の四百一齊下船

商船郵船にも波及せん形勢

懸案として居た海員の減員[illegible]問題に關する各社船員の態度は其の後漸次險惡であつたが果然十九日午後三時に至り目下神戸港に碇泊中の國際汽船の玉津島丸、佐賀丸、博多丸、鹿山丸、エイマ丸の船員機關部約四百名は一齊に下船し茲に海員罷業の火蓋が切られたので各汽船會社の狼狽一方ならず目下極力鎭撫に努めて居るが船員の態度は頗る強硬で勝田汽船の一部は既に實行に着手したと傳へられ尚郵船商船にも及ぼさん形勢である

全國的總同盟に 向上會加入せず

不可能全國的の名を汚すとして

十日午後七時半より市内北區西野田江成町日本勞働總同盟大阪聯合會事務所に於いて過般東京で開かれた中央委員會經過報告聯合委員會を開催今夕歸阪する西尾末廣氏より關西同盟會の提出議題たる全國的總同盟組織問題の經過に就き報告し續いて其の實行方法を討議する筈であるが之に就き向上會の態度を聞けば「各個の團體の統制すら十分に出來てゐない今日、全國的組合統制と云ふが如きことは到底不可能である第一夫を指揮統制する程の人物がゐない、私達は全國的同盟と云ふ其名を恥しめるに至ると思ふから加入はしないも、强制的にさうしなくとも勞働者が自覺から自ら成立する時が來るであらう」と述べ又總同盟に對する反感から立た關西勞働組合同盟では「名は全國勞働同盟でも、事實上日本勞働總同盟の色彩を殘し、其統制を蒙る以上斷じて自分等は加入しない」と述べてゐるから此實行は頗る困難だらうと觀測される

官業勞働者が 密かに再擧

來月東京で大會を開く

失業手當の發表を迫る

小石川[illegible]長芳川哲氏を初め[illegible]王子支部に集合し[illegible]事かを秘密に協議して居つたが十九日夜も場所[illegible]擬議の結果官業勞働者の失業手當の發表を其の筋に要求する事に決し其の手段として六月中旬東京で全國官業勞働者大會を開く手筈を運らし今度は秘密裡に各工場と連絡を取つて其の筋の[illegible]を衝く計畫で前回の大會が失敗に終つたので[illegible]